

# 8月 こひつじ 便り

残暑見舞い申し上げます。今年度は、熱中症と合わせ、新型コロナウイルス感染症対策など気を使いながらお過ごしのことと思います。そんな毎日の中にも「喜び」はあり、子ども達も日々成長しております。今日は、当園での園児との風景や遊びの紹介をさせて頂き、「幼児期における体験と成長」について皆様と一緒に、考えて参りたいと存じます。



## 1. 日常の園児の姿を受け止めて～共感・共鳴・共同体験からの育ち～

年少クラスの男の子が「赤くなったトマトを取ってくるね。」と、野菜収穫用の籠を持って「先生みて～。とれたよ～。他にも実になって(い)るけど、小さいから後の野菜(なすび・ピーマン等)は、今度取る。」と、どのお野菜が収穫時期かもよく見て、選んで報告をしてくれました。これは、今までスーパーでお買い物をする時や絵本等で見てきた野菜の大きさや色の具合を、子供なりに考え収穫してよいかを判断したのでしょう。先生の中には、育った野菜を見て、「オクラって、こんな向きで育つんだ。みんな～。見て見て。」と、初めての体験を園児と共有する姿もありました。生涯“学び合い”であることと、体験をもとに自分自身の価値観が育っていくことを感じると幼児期の体験の重要性を改めて感じました。



## 2. 安心安全に過ごす為の環境作り～子どもは模倣し、育つ～

園庭であっても、大きな遊具の後ろ等、園児の体格では隠れてしまうこともあり、安全確認が必要です。乳幼児は、見守ってくれる人がいる“安心感”から、少しずつ“自分の力を試したい”と思う心理があります。子どもの育ちに応えながらも、“安全な園庭”の環境構成が必要となります。教職員の園庭での人数によっては、遊べる遊具を限定する為、“大きなコーンを置いてある時は、使用できない”等お約束を作っております。また、人的環境として、教職員は“園庭の使い方のお約束をする”や“遊び方の確認”することで園児同士が公平に園庭が使えているか見守ったり、“ケガの手当てとともに、どのように怪我をしたのかの聞き取ること”で、困った時も解決に向け、自分で話せる力(対応力・自立心)を引き出すようにしております。園児が自分で遊ぶ力を養うには、傍にいる大人の関わりも重要です。過干渉・放任にならず、親子で育つ“過程(プロセス)”を大切にしましょう。その1つとして、ご家庭でも“ルールを作る”・“親子で会話を楽しむ”などで、社会性を身につける環境作りをおススメ致します。




## 3. 心の土台作り～まずは、遊び込む！！

### コミュニケーション力を身に着け、心豊かに生きよう～

2歳頃から体つきも少しずつ引き締まり、動きも活発になり、じっとしていることはありません。一人で遊ぶことも大好きですが、集団遊びにも興味が湧き始めます。自分の思いを少しずつ言葉で表現しようとして、「やりたい。」という気持ちも芽生え、何でも“自分でやりたい”時期ですが、思い通りにならなかったり、言葉の面でも整理がつかず、イライラすることも多くなります。大人が子供の話を聞き、感情の糸口を提案し、納得することもしばしばありますね。しかし、子どもが1番納得する方法は、“自分で考え、自分で決め、自分で行動すること”です。“自分づくり”=自己形成(心の土台)の上に、様々な過程を経て問題を解決する力、他者を思いやる心が身に付きます。「コミュニケーション」は、周りの大人の愛情ある関わりが基盤となり、生まれます。共感、共鳴、共同体験し、集団と個の関係性を広げていきましょう。






## 4. 遊びの紹介

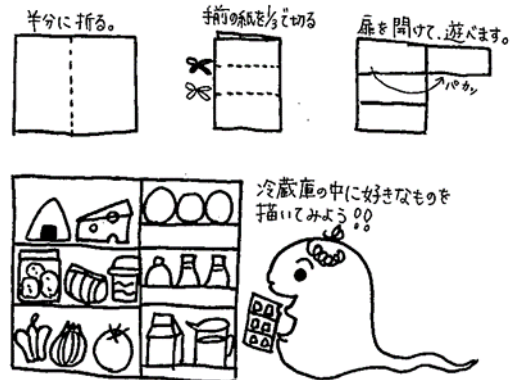
### 1) 手作りおもちゃ～ ひも通し(腕と指先を細かくコントロールする力が身に付きます。)～

- 紐の素材は、各種ロープ、スズランテープ、タコ糸等、何でも使用することが出来ます。  
※長さも子供の体の大きさに合わせ調節しましょう。
- 一方を留める場合も配慮が必要です。  
大きく玉結びをするのは、もちろん、ビーズやペットボトルのキャップを取り付けるのも良い方法です。  
※又、先端部分は、入れやすい(ほどけ防止)ようにボンドやビニールテープで固定すると目印にもなります。
- 対象物は、月齢に合わせて選びます。ビーズ、おはじき、ストロー、マカロニなど。手元に置けるサイズのをたくさん準備しましょう。  
※誤飲等に配慮して遊びましょう。



### 2) ごっこあそび～くいしんぼうのおばけごっこ (言葉や創造性を育み、自己表現力が身につきます。)～

- ① 何も書いていない紙を用意します。
- ② 紙を半分に折り、3分の1ずつ切り込みを入れます。
- ③ それぞれを「冷蔵庫」「野菜室」「冷凍庫」等に見立て、入れたいものをお話しながら、描いてみましょう。
- ④ 描き終わったら、一緒に冷蔵庫の扉を開けたり、締めたりして、遊んでみましょう。
- ⑤ 童謡「くいしんぼうのおばけ」の曲は、歌詞がクイズになっています。  
お子様と一緒に当ててみるのも面白いですよ。



『ひとりぼっちのおさかなくん』しかけえほん

( 出版社 / 大日本絵画 )

絵 : トーマス・フリントム

やく : みた かよこ

定価 本体 ¥1,400+税

ひとりぼっちの おさかなくん。2ひき、3ひきとふえていき…。10ひきまで かぞえられるかな？

そのあと みんなは どうなるの？

さいごのページを開いた時の子供達の驚く表情が楽しみの1冊です。

### 【 第4・5回施設見学会 】

2020年8月22日(土)午前10:30～11:30

2020年9月12日(土)午前10:30～11:30

○ 要予約 参加無料

○ 定員 : 各会15名(大人のみ)

※ご予約は、向丘幼稚園(084-956-0482)  
へお電話下さい。

